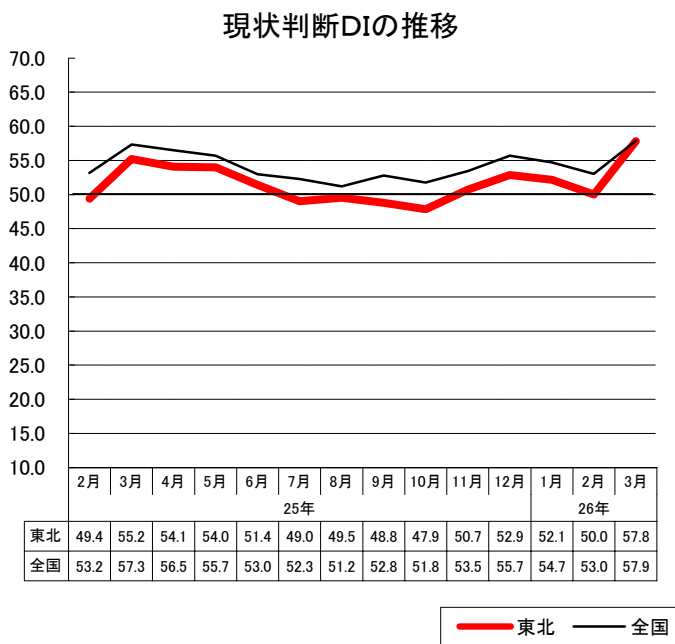


公益財団法人東北活性化研究センター  
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 26年3月東北分  
 (新潟を含む東北7県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：高橋宏明・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 26年3月東北分（新潟を含む東北7県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

### 1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI「57.8」（+7.8）は、3か月ぶりに前月を上回り、5か月連続で景気判断の基準となる50以上となった。



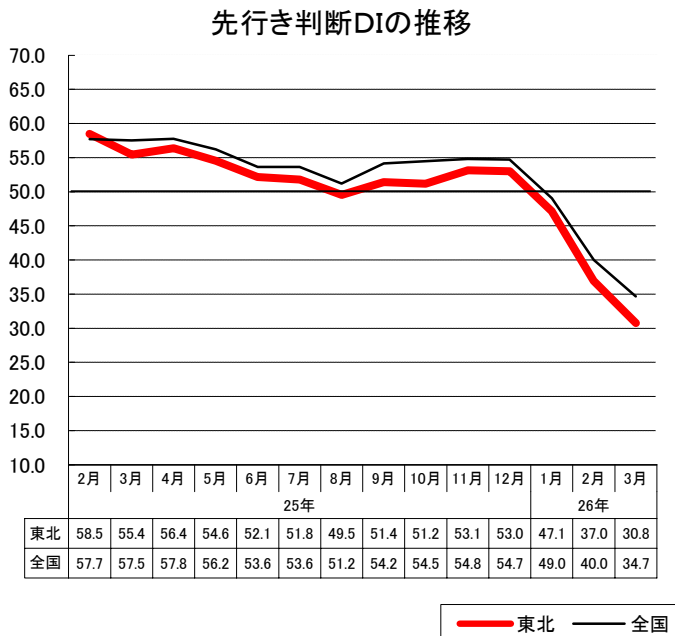
・家計動向…消費増税を直前に控え、家電量販店、百貨店、スーパー等で駆け込み需要が顕著になっている。DIは「55.4」（+9.5）と3か月ぶりに前月を上回り、基準値50を9か月ぶりに上回った。

・企業動向…消費増税前の駆け込み需要により、多くの業種で受注量や販売量が好調となっている。DIは「65.5」（+6.0）と3か月ぶりに前月を上回り、基準値50を15か月連続で上回った。

・雇用動向…DIは「59.1」（±0.0）と前月から横ばいで、基準値50を15か月連続で上回った。

### 2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI「30.8」（▲6.2）は、4か月連続で前月を下回り、景気判断の基準となる50を3か月連続で下回った。



・家計動向…消費増税後の買い控えへの懸念が一層強まっている。DIは「29.3」（▲5.5）と3か月連続で前月を下回り、基準値50を3か月連続で下回った。

・企業動向…多くの業種で消費増税後の受注減が懸念されている。DIは「31.5」（▲12.0）と4か月連続で前月を下回り、基準値50を2か月連続で下回った。

・雇用動向…DIは「38.6」（±0.0）と前月から横ばいで、基準値50を2か月連続で下回った。

## <参 考>

### ■D Iの推移※

#### (1) 現状判断(方向性) D I

	25年												26年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北現状	49.4	55.2	54.1	54.0	51.4	49.0	49.5	48.8	47.9	50.7	52.9	52.1	50.0	57.8	
家計動向関連	46.4	53.6	52.6	52.1	51.0	47.6	48.4	47.6	45.4	48.4	49.1	48.3	45.9	55.4	
企業動向関連	55.5	57.3	56.0	59.5	51.8	53.0	51.2	50.6	50.6	53.6	60.4	59.5	59.5	65.5	
雇用関連(参考)	58.0	61.4	60.2	55.7	53.4	51.1	53.4	53.4	59.1	60.2	63.6	63.6	59.1	59.1	

#### (2) 先行き判断D I

	25年												26年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北先行き	58.5	55.4	56.4	54.6	52.1	51.8	49.5	51.4	51.2	53.1	53.0	47.1	37.0	30.8	
家計動向関連	58.4	53.6	54.7	53.5	50.3	49.7	47.2	50.0	51.0	51.6	52.1	45.0	34.8	29.3	
企業動向関連	61.6	61.0	60.7	57.1	57.7	58.5	54.2	54.8	50.0	57.7	54.3	51.2	43.5	31.5	
雇用関連(参考)	53.4	56.8	59.1	56.8	53.4	53.4	55.7	54.5	54.5	54.5	56.8	53.4	38.6	38.6	

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

### ■調査の概要

調査期間 平成 26 年 3 月 25 日～31 日

回答者数 208/210 名、回答率 99.0%(全国 1,864/2,050 名、90.9%)

以上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 佐藤(健))

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-222-3394 FAX : 022-222-3395

## <別 紙>

### ■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

#### （1）現状判断理由

##### ○「良くなっている」

（百貨店）…高額商品の好調さは3月に入り拍車が掛かった。また、必需品となる化粧品、スーツ、肌着などが大幅増となっている。来客数の伸び以上に売上が伸びていることから、1人当たりの購買点数が増えているといえる。売上の伸び率は前回の増税前とほぼ同じとなっている。

（家電量販店）…消費税増税前の駆け込み需要が見られる。

（建設業）…公共工事大型案件の受注に加え、民間大型案件の受注が確定してきている。

##### ○「やや良くなっている」

（スーパー）…消費税増税前のまとめ買い需要が一般食品、菓子、酒類、米、嗜好品、家庭用品、衣料などを中心に大きくなっている。来客数、売上共に前年を上回っているが、売上の伸びについては、1人当たりの買上点数の増加が寄与している。

（衣料品専門店）…フレッシュアズ商戦で特にレディースが好調に推移している。また、消費税増税前の駆け込み需要で、来客数が前年比3～5%増加している。

（関連専門店）…消費税増税直前だが、ようやく耐久消費財に目が向けられ、客が購入に来ており単価が上がっている。

（ショッピングセンター）…前月に引き続き、高単価品の売行きが売上をけん引している。館内合計での来客数は微減であるが、客単価は上昇基調にある。家具、インテリア用品、アクセサリーのまとめ買いが著しい。また、紳士スーツの売上も堅調である。保存期間の長い食品、洗剤、トイレットペーパー、医薬部外品のまとめ買いも多く見られる。

（自動車整備業）…今月は明らかに消費税増税前の駆け込み需要が見られ、売上が通常月の2倍となっている。

（食料品製造業）…消費税増税前の駆け込み需要が、販売量の増加に部分的に寄与している。

（一般機械器具製造業）…自動車部品は、国内については消費税増税前の駆け込み需要の増加などにより、非常に好調に推移している。

（広告代理店）…消費税率変更に伴う案件が増えている。特に印刷物が3月末納品で集中している。

（企画業）…春先にきて急にヒートポンプ給湯器への買換えが多くなってきている。併せて、照明器具など省エネ製品への買換えに繋がるケースもある。客は「高額な買物なので消費税率が5%のうちに」と口をそろえる。

（新聞社[求人広告]）…広告の出稿が活発になっている。消費税率引上げ前需要や年度末需要だとしても、被災地支援とは違う、販促のための出稿が続いている。

##### ○「変わらない」

（商店街）…時折冬のぶり返しの天候に客足が厳しくなることもあったが、暖かさに後押しされ、来街客は徐々に増加してきている。消費税増税前の駆け込みも大型店や高額商品を扱う店では顕著のようである。ただ、この駆け込み好況も商店街全体でみられるわけではない。

（医薬品販売店）…今月の販売額は3か月前比、前年比のいずれも上回る見込みである。しかし、来客数はむしろやや悪くなっている。売上が上がっているのは、通常は1か月分のところ3か月分購入するといった具合で、一部の常連客がまとめ買いをしているためである。総合的にみると景気は変わっていない。

（コンビニ）…来月から消費税率が8%に上がるということで、今月はたばこを中心に若干ではあるが上向いている。しかし、大きな流れとしてはデフレに向かっているという雰囲気は変わらない。

(ガソリンスタンド) …消費税増税を控えて、販売量が月末に向けて増えてきている。石油製品であるため買いだめが難しく、販売量の大幅な増加は困難であるが、ガソリン、灯油、重油のタンクへの購入が増えてきている。ただし、冬場の需要期が過ぎているため、今あるタンクなどへの在庫の買い増しがほとんどである。ガソリンスタンドでは、タイヤ関連商品の買い急ぎの動きが出てきている。総じて、仮需があるが目立ったほどの動きではない。

(観光型旅館) …1、2月は前年より売上が減少、3月は前年並みである。低調路線の傾向は変わらない。

(出版・印刷・同関連産業) …年度末需要及び消費税増税に伴う駆け込みにより、売上は上がっている。

(電気機械器具製造業) …年度末であることに加え、消費税増税前特需で製造業、流通関連は非常に忙しい状況が続いている。

(人材派遣会社) …時期的なものもあるが、飲食業あるいは塾関係、学生をアルバイトに使っていた業種が卒業に伴って新しく求人を出しているが、なかなか採用できずに苦しんでいる。ただ一方で、経営者のマインドとしては消費税増税で冷え込むのではないかと懸念もあり、採用人数を積極的に取りにいけないというジレンマもあるようである。

(職業安定所) …求人数は前年比増加を続けているが、業種ごとの温度差があり、全体の底上げには時間が掛かるとみられる。

### ○「やや悪くなっている」

(乗用車販売店) …今月は駆け込み需要のピークも過ぎ去っており、来客数、商談件数共に激減している。受注は前年の60%程度となる見込みである。なお、販売は月内登録可能車両も限られており、前年の10%増程度にとどまるのではないかとみている。

(高級レストラン) …卒業や離任に伴う宴席が小型化し、二次会的な広がりも少ないようである。春休みを利用した観光客の動きも低調で、話題性も乏しく、高揚感がうかがえない。

(旅行代理店) …販売量の動きからみるとそれほど変わっていない。しかし、個人旅行はそうでもないが、団体旅行の動きが鈍くなっており、旅行業界の景気は悪くなっている。

(木材木製品製造業) …住宅部材の消費税増税前の駆け込み需要が一段落し、販売量が減少している。

## (2) 先行き判断理由

### ○「やや良くなる」

(住宅販売会社) …戸建て受注は緩慢だが、輸出関連製造業の大型建物に伴う千坪単位の土地需要が求められている。また、ロードサイド店出店用地の需要も伸びている。

### ○「変わらない」

(テーマパーク) …一時的な買い控えはあっても、次第に消費者は増税金額に慣れてくるため、今の状況が特に変わることはない。

(人材派遣会社) …採用活動を継続して行う企業は多いが、塾、小売、外食といった業種では4月からの消費税増税に伴って様子を見るというような経営者も多い。積極的な投資や求人数を増やすというような動きにはつながっていない。

### ○「やや悪くなる」

(スーパー) …4月からの消費税増税後の家庭内備蓄在庫が消化されるまでは、一時的に買上点数などが低迷し、業績に影響が出ることが予想される。

(コンビニ) …消費税増税によるたばこの20円アップはやはり影響が大きいのではないかと心配している。たばことドリンクでワンコインでは済まなくなるので、買上点数や販売量の減少につながる。落ち着くまでに2、3か月かかるのではないかと心配している。

(衣料品専門店) …消費税増税後は生活防衛意識が確実に高まる。特に衣料品は買い控え対象商品となり、厳しい状況が続くと予想される。

- (住関連専門店) …当店のよう小さな店では想像していなかったのだが、消費税増税前の駆け込み需要が結構あった。3か月後は反動があるのではないかと予想している。
- (一般レストラン) …消費税増税前に高額商品を購入したり、商品を買いだめたりしたため、消費は最小限に抑える人が多数いるとみている。消費税8%に慣れるまでというわけではなく、消費を抑えた生活に慣れる人が多くなるため、飲食店は打撃を受けることが予想される。
- (観光型旅館) …消費税増税後は落ち込むとみられ、予約の件数も動きが鈍い。夏前には需要の回復を見込んでいるが、4月から5月中旬までは厳しいとみている。
- (都市型ホテル) …以前から低価格販売が常態化しており、4月からの消費税増税が予約状況に影響するようには見えない。しかし、原材料価格及び備品消耗品の仕入れ価格の高騰はかなりのマイナス要因となる。
- (農林水産業) …消費税増税により農薬、肥料、その他資材が値上がりするものの、農産物の販売価格に転嫁することは難しい。
- (食料品製造業) …消費税増税は安価なし好品にも必ず影響が及ぶ。今月の好調の反動で前年割れも懸念される。
- (一般機械器具製造業) …自動車部品については、国内向けは駆け込み需要の反動から受注が減少することが予測される。また、新興国においては景況感の悪化により、日本から供給している部品の受注が減っていくことが予測される。
- (建設業) …年度をまたいで発注されている公共工事の受注が確定する見込みだが、大型公共事業の発注が一巡したため、受注量は若干低下して推移すると想定される。また一方で、受注者側の施工能力オーバーによる入札不調も懸念される。
- (金属工業協同組合) …消費税増税による景気の落ち込みが予想されることから、ユーザーの様子見がみられ、受注減かつコスト削減の要請が強まるとみている。
- (新聞社[求人広告]) …消費税率引上げと年度初めで、しばらくの間は様子見になるのはやむを得ない。
- (職業安定所) …求職では特に目立った企業整備の情報等はなく、求職者の急激な増加はないとみられる。一方、求人では、消費税増税の影響で売り上げの低下が見込まれ、しばらくは求人を控えることも予想され、求人数減少が考えられる。

## ○「悪くなる」

- (百貨店) …消費税増税前の駆け込み需要の反動で、購買意欲は明らかに下がる。高額商品などアイテムによっては売上が前年の5割を割り込むことも予測される。ただし、6月くらいからは中元商戦も始まることから、購買動機のきっかけとなり、少しずつ回復するとみている。
- (家電量販店) …消費税増税前の駆け込み需要で、白物家電全体で販売量が前年比180%と伸びている。特にエアコンや大型冷蔵庫は先食いの販売しているので3か月～半年は影響が残るとみている。また、パソコン本体もウィンドウズXP問題で買換えが進み150%と伸びているが、これも先食いのため今後半年くらいは影響が残る。
- (乗用車販売店) …車の買換え検討客は消費税増税前に購入しており、これからは販売量、来客数共に減少が避けられない状況にある。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上